



WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

2010～2011年度
国際ロータリーのテーマ
地域を育み、大陸をつなぐ
2010～2011年度
RI会長 レイ・クリンギンスミス

創会 立：1980年(昭和55年)1月10日
会 長：田中 隆義
幹 事：加納 裕
クラブ委員長：梅村 昌孝
例会 日：毎週木曜日PM12:30～
会 場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3 ヒルトン名古屋910号
TEL：052-211-3803
FAX：052-211-2623
MAIL：2760nagoya@mizuho-rcj.jp
URL：http://www.mizuho-rcj.jp/

第1471回例会

～会員増強及び拡大月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2010年8月26日(木) 晴 第8回

司 会：大嶽達郎会場副委員長
齊 唱：「日も風も星も」「四つのテスト」
ゲ ス ト：地区研修委員 鈴木孝則さん
ビ ジ タ ー：岩倉RC 井上隆義さん

会長挨拶

田中隆義会長



今日はたばこを吸う方には余計なお世話かと思いますが、「禁煙のお勧め」の話をさせていただきます。

日本たばこ産業の調査では、2010年の喫煙率は前年より1ポイント下がって23.9%で、禁煙場所の増加や10月からの値上げ前にやめる人もいて、15年連続で過去最低を更新したとのこと。男女別の喫煙率は男性が前年比2.3%減の36.6%、女性が前年比0.2%増の12.1%とのこと。喫煙者の推計値は男性は1840万人、女性は655万人。「毎日吸う」人の1日あたりの平均本数は男性20.5本、女性16.1本との報告です。国立がん研究センター中央病院呼吸器腫瘍科金子昌弘医師は「喫煙が本人の肺がんや心筋梗塞の原因になることは、日本たばこ産業が商品の包装に明記しているように、販売者も認める事実だ。有害とわかって続けるのは自傷行為であり、喫煙は長期にわたる自傷行為にほかならない。喫煙は単なる習慣ではなく、ニコチン中毒という病気である。日本人の死亡原因の1位はがんです。そのうち1番多いのが肺がんで、年間7万人近くが肺がんで亡くなり、その7割が喫煙者です。肺がんの最大の原因は喫煙だから、肺がんで死にたくなければ喫煙を止めることが1番だ」とも言っています。

今でこそ当クラブの会場内は禁煙となり、たばこを吸いたい人は外に出て行かれますが、私が10年程前の会場委員長の際に、例会時の1時間は禁煙にする案を提案したところ、多くの人からバッシングを受け、結局会場内に数ヶ所の禁煙テーブルを設けることで了承されたのを覚えています。その後は時勢に流されず禁煙になりました。喫煙者本人だけでなく、たばこの副流煙は、周囲の人にも喘息、発がん、心筋梗塞などの危険を及ぼすことも明らかになっています。新幹線や飛行機内は禁煙となり、また家庭内でも居場所がなく、団地のほたる族が増えています。

たばこは10月から値上げになりますが、これを機会に改めて禁煙にチャレンジされてはいかがでしょうか。最近はテレビのコマーシャルのように、健康保険で禁煙補助薬が処方できる禁煙外来もあります。特に当クラブのエレベーター前族の方々にお勧めいたします。

出席報告

稲垣 豊出席委員

会員66名 出席47名 (出席計算人数53名)

出席率 83.9%

8月19日は補填により 85.2%

ニコボックス

稲垣 豊ニコボックス委員

- ・田中隆義会長のお顔を拝見に参りました。お世話になります。
ビジター 井上 隆義さん
- ・先日娘が男の子を出産しました。私の初孫です。無事に成長してくれることを祈ります。
田中 隆義さん
- ・先日親父の一周忌の法要をすませました。その節には皆さんにはお世話になりました。鈴木さんにはご無理を申し上げお世話になりました。
関谷 俊征さん
- ・地区研修委員の鈴木様に卓話をお願いしました。本日はよろしくお願ひします。
天野 正明さん
- ・ピアノ曲は種々ですが、ショパンのコンチェルトを弾く難しさというものがあります。先週見事に弾きこなした山田愛子さんに拍手！いつか本物のオーケストラと共演出来る日が来ると良いですね。
高須 洋志さん
- ・残暑お見舞い申し上げます。本日第1回長期ビジョン委員会を開きます。よろしくお願ひ申し上げます。又本日卓話にあまロータリークラブ鈴木孝則さんをお迎えて。
野崎 洋二さん
- ・残暑お見舞い申し上げます。
宗宮 信賢さん
- ・暑い日が続いております。
内田 久利さん
- ・1)本日の卓話は昨年2月に分区大会で大変お世話になりました鈴木孝則氏にお越し頂いております。
2)50年振りに坊主にしました。松波さんの言われる様に大変サッパリしました。朝の時間が10分は短縮できました。増田 盛英さん
- ・高村さんいつも有難うございます。松波さん、岩田さんほか皆さん先週は大変お世話になりました。
入山 治樹さん
- ・先日は、先輩方々がありがとうございました。
鈴木 淑久さん

委員会・同好会報告

R情報委員会：増田盛英委員長

第1回新入会員研修会並びに懇親会のご案内をメールボックスにお配り致しました。新入会員、会長、幹事、五大奉仕委員会の委員長、カウンセラー、地区出向者代表の遠山さん、R情報委員会のメンバー、入会3年未満の会員の皆さん、どうぞよろしくお願い致します。また、研修会のための打合せを9月16日に行います。会長、幹事、五大奉仕委員会の委員長、遠山さん、R情報委員会の皆さんよろしくお願い致します。研修会は9月30日の例会後に「ことぶきの間」にて、懇親会は10月2日にとんちゃん屋にて開催する予定です。

幹事報告

加納 裕幹事

- ・本日13時40分よりヒルトン名古屋9階「つるの間」にて第1回長期ビジョン委員会を開催いたします。
- ・本日18時より「蓬莱軒本店」にて会員増強及び維持・会員選考・職業分類委員会を開催いたします。
- ・9月2日(木)13時40分よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて第3回理事会を開催いたします。

出席者表彰

通算26年100%出席

田中隆義さん

新入会員推薦者へバッジ贈呈

鶴田浩さんの推薦者である高木勝さんと加納裕さん、鈴木健司さんの推薦者である高村博三さんと大島浩嗣さんにバッジが贈呈されました。



R財団国際親善奨学生 橋田直樹さんからのメール

みなさん、こんにちは。今年の日本の夏は大変暑かったと聞いていますが、イギリスでは大変涼しい日々が続いています。最近、最高気温が20度前後の日々が続き、気温が低すぎて問題になっているくらいです。

イギリスで暮らす日々も2年近くになり、最初は目新しいものにした風景も当たり前ものになりました。

8月と言えば日本では夏休みですが、イギリスでも同じように夏休みです。ヨーロッパに旅行に行く人も多いようですが、僕はイギリスの南海岸にあるポーツマスとブライトンに旅行に行くことができました。日本ではそれほど有名ではありませんが、ポーツマスやブライトンなどの南海岸にある都市は旅行先として有名なところのようです。最初に訪ねたポーツマスは軍港として古くから有名な都市で、現在でもイギリス海軍の拠点となっています。ポーツマスの海軍基地には博物館も併設されており、イギリスの歴史的有名人であるヘンリー8世やネルソン提督について学ぶことができました。日本では、現在の日本という国の枠組みを作る上での重要人物として、例えば、徳川家康や坂本竜馬が有名ですが、ヘンリー8世やネルソン提督もイギリス人にとって同じように有名な人物です。

次に訪ねたブライトンの方が大きな都市で、観光地としても有名です。そもそもブライトンが観光地として有名になったのは、18世紀に科学者が、塩水が健康にいいという説を唱え、その説を聞いた皇太子がロイヤルパビリオンという建物を建て、ブライトンに滞在するようになったからだそうです。ロイヤルパビリオンの外観は、インド風の風変わりなもので、現在では人気の観光地の一つになっています。内装はとても豪華な中国風になっており、陶器の唐三彩のような色調の黄、赤、緑で各々の部屋が統一されていました。

ポーツマスにしる、ブライトンにしる、イギリスの中では比較的現代的な街ですが、それでも町の様々な場所に歴史を感じることができます。そのような歴史のある場所で勉強できることに感謝し、残りの学業の期間を全うできるように頑張ります。

卓話

地区研修委員 鈴木孝則さん

研修がロータリーを救う



本日は共通認識を持つという意味で問題提起をしたいと思います。現在日本のロータリーが直面している問題は、会員減少が止まらないということです。この10年間で世界のロータリアンの数は微増していますが日本は25%減です。そしてここ第2760地区も21%減という数字が出ております。何故日本だけ激減しているのでしょうか。当地区では毎年約350人の入会者がいますが約400人が退会されています。退会者には新しい会員ばかりでなくベテラン会員も多く含まれており、これはロータリー全体の問題であると言わざるを得ません。

皆さんもロータリーに入るとき入会動機というものがあったかと思えます。あるアンケートの結果によると、古い会員の方の入会動機としては「社会的配慮」「ステータス」「仕事上のつながり」「楽しみ、気晴らし」「地域での付き合い」が、若い会員の方は「職場を離れて何か意味のあることをしたい」「同等の人々とともに活動したい」「リーダーシップ技術を伸ばす機会」が多い傾向にあるようです。逆に退会の原因としては恐らく「経済情勢が悪くロータリーどころではない」が一番でしょう。以前は私のクラブにも銀行の支店長が3名ほどみえましたが、今は1名もいません。本人がやりたいと思っても会社の許可が出ないという場合もあります。会社依存のロータリアンが日本には多いように感じます。実際にアンケートをとってみると退会理由には「クラブの指導性の弱さ」「クラブのあり方に魅力が無い」「クラブのプログラムが充実していない」「ロータリーの今日的意義が解らない」「人間関係」「ステータス」等が挙げられています。入会動機となった「ロータリーへの期待」が満たされないということです。私は入会して37年になりますが、ロータリーは大変素晴らしいと思っています。素晴らしくなければ37年も続きません。私は、ロータリーの素晴らしさや本当の価値を理解されないまま退会されるのを本当に惜しく思っています。

この度、規定審議会において「決議案10-01」という案が採択されました。どういう文面かという「国際ロータリーの決議により国際ロータリー理事会はクラブリーダーシッププランが推奨する常任委員会に加えて研修リーダーシップ委員会を設置するようクラブに奨励することを検討するものとする」というものです。提案理由に「新会員も古くからの会員も含め、RIならびにロータリー財団の目標、規則、リソースに関する知識が欠如しているロータリアンが多く見られる。」とあります。これはクラブが徹底した定期研修を提供していないことに起因しています。具体的には、恐らく近い将来、各クラブに「クラブ研修委員会」が設置され、新会員だけではなく一般会員に対しても研修が行われるようになると思います。

現在の日本と世界のロータリーの違いとして「会員の平均年齢が高い」「女性会員が少ない」「CLPの採用率が低い」の3つがあり、それが会員激減の大きな要因と言われています。魅力あるクラブを作るためのキーマンはクラブ奉仕委員長です。クラブ奉仕委員会が会員に対し十分な情報を提供し、奉仕活動に積極的参加を呼びかけ、ロータリアンとしての「喜び」「誇り」「感動」を感じる機会をつくることや、クラブの存在理由を示すような奉仕活動を実施して成功をおさめること、また、ロータリーの奉仕活動の根幹をなすロータリー財団や米山奨学会を支援すること、ロータリーの綱領を実現できるリーダーを常に新しく養成するしくみを作ること、広報をしっかり行い世間との距離を無くすこと等を実現することが必要です。これはすべて「CLPの導入」につながります。魅力ある会員の集まりだからロータリーに入り、ロータリーに留まり、色々な仕事を一生懸命するのです。ロータリーの意義と同様、会員一人一人の人的魅力が最も大切で、これにより『人が人を呼び』ロータリーが発展します。この原則はいつの時代でも不変です。ロータリーの問題はロータリアン一人一人の魅力、人格の問題ではないでしょうか。そしてロータリアンの人的魅力は、結局、「自己研修」「クラブ研修」「地区研修」等によってレベルアップされるのです。

例会のご案内

■今週の卓話 9月2日(木)

会員卓話：野崎洋二さん 高木 勝さん
テ－マ：会員増強及び維持について

■次週の行事 9月9日(木)

ガバナー補佐訪問

■次々週卓話 9月16日(木)

卓話講師：COP10支援実行委員会事務局次長
浅田孝男さん
テ－マ：生物多様性とCOP10